

野木和公園ピクニック広場 枝拾い清掃活動

位置図



野木和公園 枝折れ状況

2022.3.24撮影



野木和公園枝折れ清掃活動 回収状況

2021.4.25撮影 No.1



野木和公園枝折れ清掃活動 回収状況

2021.4.25撮影 No.2



野木和公園 枝折れ清掃活動 青森北高校

2022.4.10撮影



野木和公園 枝折れ清掃活動 油川中学校

2022.4.10撮影





野木和公園 中高生ら枝拾い



野木和公園で折れた枝を拾い集める参加者

青森市内の桜の名所・野木和公園で10日、近くの高校生や中学生をはじめ、ライオンズクラブや住民ら約130人が、今冬の豪雪や暴風雪で散乱した枝をボランティアで拾い集めた。

同公國「青森春つり」の作業の山がでた。開墾されたのは、新野ゴロオウィルの影響で年ぶりに「青森正月」は初めてフマルラン「青森松まつり」に「廿日」のタート地に決まっている。この穴地元の油「コミ」で協議会（農商関係）笑顔を寫した。（下藤弘之）

代表の呼びかけにこたへ、青森北高校・津田川中学校を以て、青森外ヶ浜・イオンシネマ、青森細工会館のメソバらが集まつた。

一人一人検温と手指の消毒を済ませ、真新しい作業服を取つて作業を開始。野木和順は右のヒョッキンク広場を中心に枝を集め始めた。折れた枝は、うがほとんどで、今冬の寒の影響で園内の一部に雪が残つたり、大きな枝は少く折つたり、3人は小まめに「コン」標誌を置いて進んだ。土壌中には、一時ほど

2022年4月13日(水) 東奥日報朝刊掲載記事

2022年4月10日(日)

